

# 第3回新型コロナ・インフル同時流行対策 タスクフォース説明資料

---

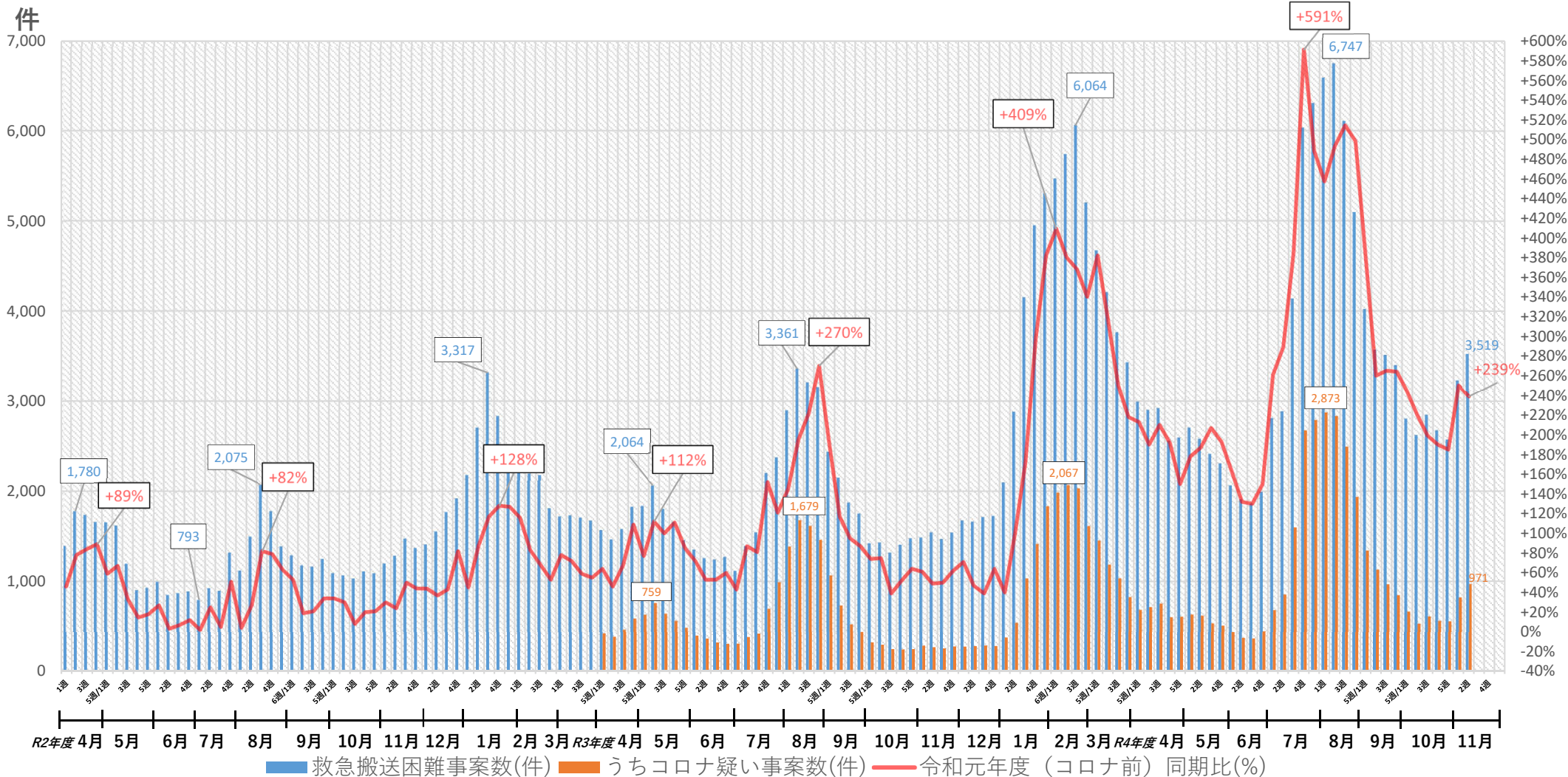
令和4年11月18日  
消防庁



# 救急搬送困難事案 発生件数の推移

救急搬送困難事案(※1)については、消防庁において、令和2年4月から、毎週全国の主な消防本部(※2)における発生状況を集計し、公表している。

8月第2週の6,747件をピークに減少傾向であったが、11月第1週以降、2週連続で増加している。



※1 本調査における「救急搬送困難事案」とは、救急隊による「医療機関への受入れ照会回数4回以上」かつ「現場滞在時間30分以上」の事案として、各消防本部から総務省消防庁あて報告のあったもの。なお、これらのうち、医療機関への搬送ができなかった事案はない。

※2 調査対象本部 = 政令市消防本部・東京消防庁及び各都道府県の代表消防本部 計52本部

※3 コロナ疑い事案 = 新型コロナウイルス感染症疑いの症状(体温37度以上の発熱、呼吸困難等)を認めた傷病者に係る事案

※4 医療機関の受け入れ体制確保に向け、厚生労働省及び都道府県等と状況を共有。

※5 この数値は速報値である。

※6 本調査には保健所等により医療機関への受入れ照会が行われたものは含まれない。

# 救急搬送のひっ迫回避（救急車の適時・適切な利用）に向けた取組み①

## (1) #7119の導入・拡充

- 住民が急な病気やけがをしたときの相談窓口として、専門家から電話でアドバイスを受けることができる仕組み
- 電話相談窓口では、相談を通じて病気やけがの症状を把握した上で、救急相談、適切な医療機関の案内を実施
- 都道府県・市町村が実施している事業

### #7119(救急安心センター事業)

- 医師・看護師・相談員が相談に対応
  - ・病気やけがの症状を把握
  - ・緊急性、応急手当の方法、受診手段、適切な医療機関などについて助言
- 相談内容に緊急性があった場合、直ちに救急車を出動させる体制を構築
- 原則、24時間365日体制



※現在、全国19地域で実施  
(人口カバー率は47.5%(5,997万人))注

### 【実施地域における取組実績】

#### ○東京都(H19年6月1日より運用開始)

	計	内 訳			
		救急相談			医療機関案内
		救急要請しなかったもの	救急要請したもの	小 計	
R2年	約36万件	約19万件	約3万件	約22万件	約14万件
R3年	約36万件	約20万件	約4万件	約24万件	約12万件

(「東京消防庁令和3年救急活動の現況」より抜粋)  
(参考)R2年中の東京消防庁管内の救急出動件数:約72万件



#### ○大阪府(H21年10月1日より大阪市内、H22年12月1日より大阪府内全域で運用開始)

	計	内 訳			
		救急相談			医療機関案内
		救急要請しなかったもの	救急要請したもの	小 計	
R2年	約22万件	約11万件	約0.8万件	約12万件	約10万件
R3年	約23万件	約12万件	約0.9万件	約13万件	約10万件

(「令和3年救急安心センターおおさか年報」より抜粋)  
(参考)R2年中の大阪府内の救急出動件数:約55万件



- 新型コロナと季節性インフルの同時流行に備えて、#7119の導入・拡充等に向けた早急な検討を各都道府県・市町村に要請(令和4年10月 消防庁次長通知)
- 厚生労働省作成のリーフレットにおいて、発熱等の体調不良時の相談窓口として、新型コロナの受診・相談センターとともに、#7119や救急車利用マニュアル等を記載し、広く周知

注: #7119に類似する事業を合わせると、全国25地域で実施(人口カバー率は58.5%)



# 救急搬送のひっ迫回避（救急車の適時・適切な利用）に向けた取り組み②

## (2) 救急車利用マニュアル(消防庁作成)の周知

[https://www.fdma.go.jp/publication/portal/items/portal002\\_japanese.pdf](https://www.fdma.go.jp/publication/portal/items/portal002_japanese.pdf)

- 「ためらわず救急車を呼んで欲しい症状」等を分かりやすく示した「救急車利用マニュアル」を周知
- 新型コロナ対策として、発熱等の症状がある場合は、受診・相談センター等の相談窓口相談するほか、119番通報に迷った場合には、救急相談窓口（#7119）に相談することを促している

**ためらわず救急車を呼んでほしい症状**

**突然のこんな症状の時にはすぐ119番!!**

**高齢者**

- 顔**
  - 顔半分が動きにくい、しびれる
  - 笑うと口や顔の片方がゆがむ
  - ろれつがまわりにくい
  - 見える範囲が狭くなる
  - 周りが二重に見える
- 頭**
  - 突然の激しい頭痛
  - 突然の高熱
  - 急にふらつき、立ってられない
- 胸や背中**
  - 突然の激痛
  - 急な息切れ、呼吸困難
  - 旅行などの後に痛み出した
  - 痛む場所が移動する
- 手足**
  - 突然のしびれ
  - 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる
- おなか**
  - 突然の激しい腹痛
  - 血を吐く

**意識の障害**

- 意識がない(返事がない)又はおかしい(もうろうとしている)

**けいれん**

- けいれんが止まらない

**けが・やけど**

- 大量の出血を伴うけが
- 広範囲のやけど

**吐き気**

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

**飲み込み**

- 物をのどにつまらせた

**事故**

- 交通事故や転落、転倒で強い衝撃を受けた

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合◎  
高齢者は自覚症状が出にくい場合もありますので注意しましょう。

**迷ったら「かかりつけ医」に相談しましょう!**

※発熱等の症状がある場合は、新型コロナウイルスに関する受診・相談センターに電話相談するか、速やかに発熱外来/かかりつけ医/地域外来・検査センターを受診しましょう。  
※さらに、119番通報などの判断に迷った時は、お近くの救急相談窓口（#7119等）にご相談下さい。

**重大な病気やけがの可能性がります!**

**おとな**

- 顔**
  - 顔半分が動きにくい、または、しびれる
  - ニッコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
  - ろれつがまわりにくい、うまく話せない
  - 見える範囲が狭くなる
  - 突然、周りが二重に見える
  - 顔色が明らかに悪い
- 頭**
  - 突然の激しい頭痛
  - 突然の高熱
  - 支えなくて立てないくらい急にふらつく
- 胸や背中**
  - 突然の激痛
  - 急な息切れ、呼吸困難
  - 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2〜3分続く
  - 痛む場所が移動する
- 手足**
  - 突然のしびれ
  - 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる
- おなか**
  - 突然の激しい腹痛
  - 激しい腹痛が持続する
  - 血を吐く
  - 便に血が混ざるまたは、真っ黒い便が出る

**意識の障害**

- 意識がない(返事がない)またはおかしい(もうろうとしている)
- くったりしている

**吐き気**

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

**飲み込み**

- 物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい、意識がない

**けいれん**

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

**けが・やけど**

- 大量の出血を伴うけが
- 広範囲のやけど

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合◎

※発熱等の症状がある場合は、新型コロナウイルスに関する受診・相談センターに電話相談しましょう。(特に、妊婦や基礎疾患がある方については、発熱等の症状がある場合は、新型コロナウイルスに関する受診・相談センターに電話相談するか、速やかに発熱外来/かかりつけ医/地域外来・検査センターを受診しましょう。)  
※さらに、119番通報などの判断に迷った時は、お近くの救急相談窓口（#7119等）にご相談下さい。

**こんなときにはすぐに119番!!**

**こども(16歳以下)**

- 顔**
  - くちびるの色が紫色
  - 顔色が明らかに悪い
- 頭**
  - 頭を痛がって、けいれんがある
  - 頭を強くぶつけて、出血がとまらない、意識がない、けいれんがある
- 胸**
  - 激しい咳やせーせーして呼吸が苦しそう
  - 呼吸が弱い
- おなか**
  - 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず食欲がなく意識がはっきりしない
  - 激しいおなかの痛みで苦しがる
  - 嘔吐が止まらない
  - 便に血がまじった
- 手足**
  - 手足が硬直している

**意識の障害**

- 意識がない(返事がない)またはおかしい(もうろうとしている)

**けいれん**

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

**飲み込み**

- 物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい、意識がない

**じんましん**

- 虫に刺されて全身にじんましんが出て、顔色が悪くなった

**やけど**

- 痛みのひどいやけど
- 広範囲のやけど

**事故**

- 交通事故にあった(強い衝撃を受けた)
- 水におぼれている
- 高いところから落ちた

**生まれて3カ月未満の乳児**

- 乳児の様子がおかしい

◎その他、お母さんやお父さんから見て、いつもと違う場合、様子がおかしい場合◎

※小学生以下のこどもで、発熱等の症状がある場合は、新型コロナウイルスに関する受診・相談センターに電話相談するか、速やかに発熱外来/かかりつけ医/地域外来・検査センターを受診しましょう。  
※さらに、判断に迷った時は、お近くの電話相談窓口にご相談下さい。子ども医療電話相談(主に休日・夜間)は#8000、119番通報の相談は#7119をご利用いただけます。

## (3) 全国版救急受診アプリ(Q助)の活用

<https://www.fdma.go.jp/mission/enrichment/appropriate/appropriate003.html>

- 病気やけがの際に住民自らが行う緊急度判定を支援し、利用できる医療機関や受診手段の情報を提供するWeb版・スマホ版無料アプリを提供(全年齢対応)

